

令和四年度秋期特別展

星 になつた 民具 たち

令和4年

令和5年

10月22日(土)～1月15日(日)

現在私たちが耳にする星や星座の名前は、西洋を起源とするものがほとんどです。しかし、日本人が星空を見上げてこなかったわけではなく、昔から星を生活の助けとして親しんできました。日本ではその星ならびを、普段の生活や農作業などで使う道具にたとえてきました。

本展示では、星や星座の和名とともに、その元になった民具を中心に実物展示をします。ほかにも、天体にまつわる習俗や信仰なども解説します。本展示を通して、日本人がどのように星空を見ていたのか、そして日々の生活に星が深く根付いていたことを知っていただければと思います。

秋期特別展関連行事 ☆

各行事申込みは、往復はがき(行事名・氏名・住所・電話番号を記入)、または**博物館ホームページの応募フォーム**からお申込みください(3ページ下のQRコードもご利用ください)。

締切は、往復はがきの場合は当日消印有効、フォームの場合は同日中です。

特別展览展示解説

内容:担当学芸員が特別展示を案内します。

日時:10月30日(日) 午前9時20分～10時

場所:特別展示室 **定員:**20名(1申込4名まで)。

締切:10月15日(土)

※特別展览展示解説は11月・12月・1月にも行います。

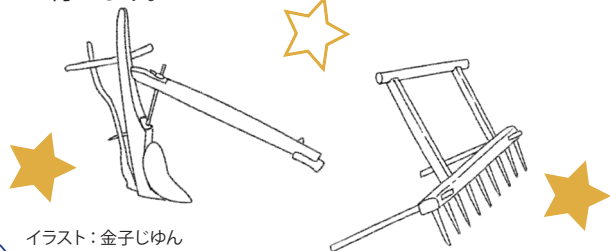


イラスト:金子じゅん

記念講演会 ☆

「星の和名—その収集のあゆみと多様性」

内容:講師がライフワークとして続けてきた星の和名の収集の歩みと、その調査で得られた多様な星名を紹介します。

講師:北尾浩一(星の伝承研究室)

日時:11月13日(日) 15時30分～17時

場所:博物館講堂 **定員:**40名(1申込2名まで)。

締切:10月29日(土)



記念講演会 ☆

「里に降りた星たちを訪ねて」

内容:平塚とその周辺地域に伝わる星にまつわる行事や伝承を紹介します。

講師:澤村泰彦(当館元館長)

日時:11月19日(土) 15時30分～17時

場所:博物館講堂 **定員:**40名(1申込2名まで)。

締切:11月5日(土)

